

子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”であるために～

大田市の「5年先までの家計簿」中期財政見通しを策定しました

今年度推計した令和12年度までの財政見通しでは、人口減少が進む中であっても、市税や地方交付税が安定的に確保できる見込みであることから、収支のバランスを保ち、必要な住民サービスを継続して提供できます。

市民の皆さんがこれからも大田市で安心して暮らし続けていけるよう、今後も堅実で健全な財政運営に取り組んでいきます。

歳入(収入)・歳出(支出)の実績と今後の見通し (単位: 億円)

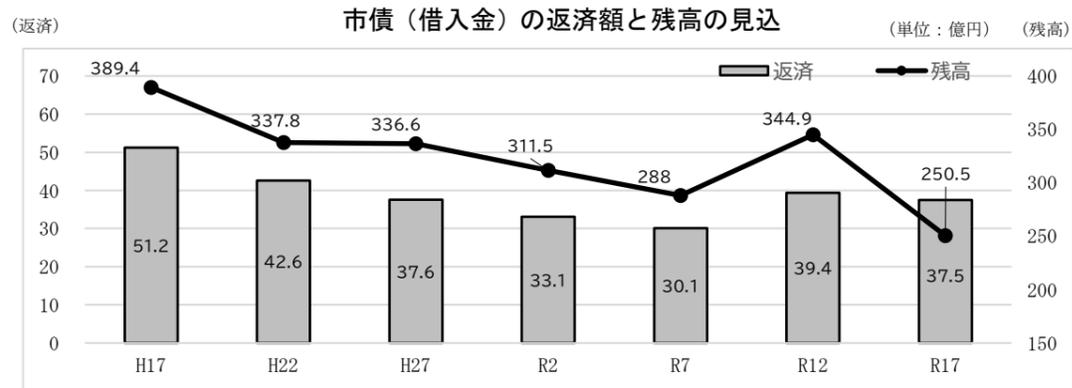
	H17	H22	H27	R2	R7	R8	R9	R10	R11	R12
歳入	221	241	251	304	276	295	271	308	273	283
市税	35	36	36	36	39	40	40	40	40	40
地方交付税	94	107	106	99	107	106	107	106	107	108
国県支出金	31	43	41	96	67	73	57	57	48	50
市債	19	30	30	37	26	42	36	64	38	37
基金繰入金	11	1	6	11	7	10	6	16	14	21
その他	31	24	32	25	30	24	25	25	26	27
歳出	219	233	248	298	276	295	271	308	273	283
収支	2	8	3	6	0	0	0	0	0	0

大型建設事業の実施スケジュール (予定)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12
子育て拠点	→					
新大田小学校	→					
新庁舎	→					

子育て拠点施設、大田小学校新校舎、市役所新庁舎の設計や工事を予定している令和8～12年度は一時的に支出が膨らみます

大田市の財政は大丈夫？



大型建設事業をおこなうため、令和12年度には一時的に市債の残高は増加しますが、その後は過去に大型事業実施のために借りた市債の返済が次々に終わることから、令和17年度の残高は、令和7年度末より少ない250億円まで減少します。

市債はいくつかのメニューにわかれていて、返済額の一部が「地方交付税」として将来補填されるものがあります。今後も、市の財政負担を軽減できるよう、条件の有利な市債を活用していきます。

健全な財政運営のための取組目標 (第2期中期財政運営方針より)

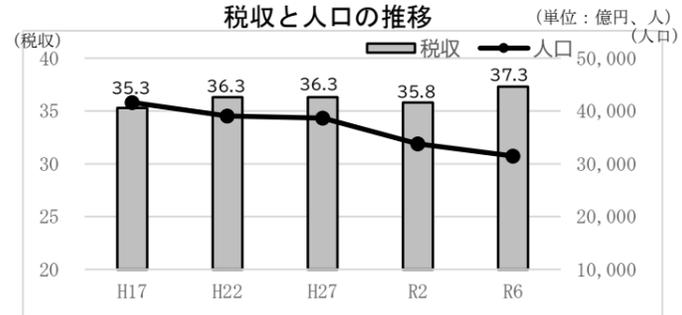
- 基金** ……災害などの予期せぬ支出に対応できるように、経費節減やあらゆる収入の確保に努めて、一定程度の基金残高を確保
- 市債** ……返済条件を適切に管理することで、後年度の負担を平準化

財政状況を見える化

20年間の大田市の財政状況を振り返る

◆大田市の「税収」と「人口」

人口は合併当初と比較すると25%減少していますが、**税収は近年増加**しています。

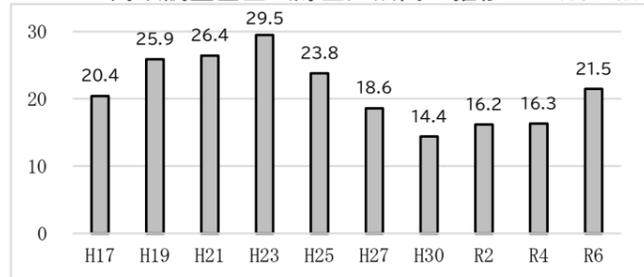


◆大田市の「貯金」は…

※財政調整基金…景気の変化や災害復旧などの想定外の支出に備える貯金

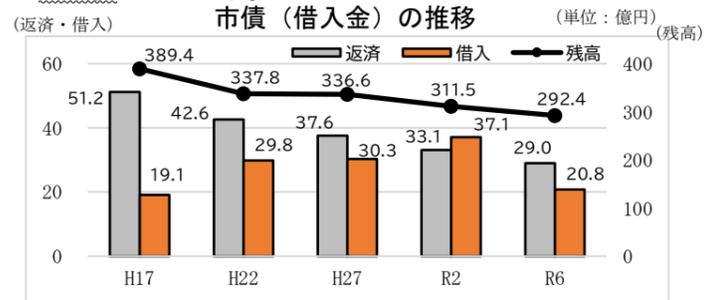
平成30年に発生した島根県西部地震への対応で減少しましたが、その後は**増加傾向**にあります。

(※) 財政調整基金(貯金)残高の推移 (単位: 億円)

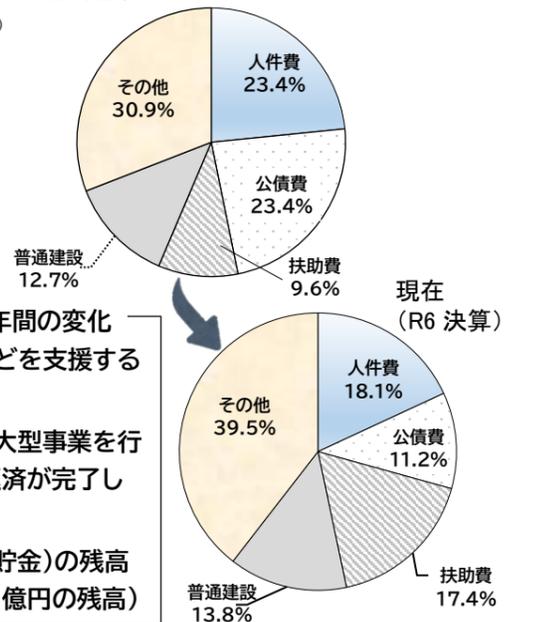


◆大田市の「借入金」は…

過去に借り入れた市債(借入金)の返済が完了し、返済額は小さくなり、**残高は合併当初から約100億円減少**しています。



◆合併当初と現在のお金の使い道の変化



- 合併から20年間の変化
- ◎増加したもの …… 子育て世帯や障がい者、生活困窮者などを支援する扶助費(社会保障費)の増
 - ◎減少したもの …… 職員数削減による人件費の減、過去の大型事業を行うときに借り入れた市債(借入金)の返済が完了したことによる公債費(返済額)の減
 - ◎貯めたもの …… 災害や将来の大型事業に備えた基金(貯金)の残高を確保(全ての基金を合計すると約51億円の残高)

未来へつなぐ持続可能な財政運営
大型事業と安定財政の両立に向けて

平成17年10月1日の市町合併から20年。人口減少・少子高齢化が進む中、本市は「持続可能なまちづくり」を目指し、財政の健全化と住民サービスの向上に取り組んできました。今後も、子育て拠点施設や学校、市役所新庁舎など大型建設事業を予定しているため、健全な財政運営に向けて取り組んでいく必要があります。